

モラル・ハラスメントを許すな！⑤

モラル・ハラスメント被害者同盟Ⅱ

～モラル・ハラスメント被害者同盟というサイトに集う、
被害者の手記をご紹介しますシリーズです～

今日は「モラル・ハラスメント被害者同盟」サイトに集う被害者の一人、夏海さんより「アメリカでのモラハラ離婚」についてお話をお伺いします。「モラハラ」とはモラル・ハラスメントの略で「精神的虐待」を意味します。言葉や態度による暴力で、相手に精神的苦痛を与えることです。まだまだ認知度の低い問題ですが、ほかのハラスメント同様、深刻な問題となってきました。

語学留学のために渡米した私は、同じ日本人留学生の彼と知り合い、結婚し、子どもをもうけて12年間に共に暮らした。大事な子どもの父親なのに、彼は今、私にとって二度とかかわりを持ちたくない相手である。

初めて「この人、どこかがおかしい」と思ったのは、彼が仕事先で食事を振舞われたことを、「たっぷり50ドルは得した」と表現した時だ。人の好意を当然のように金に換算したことに違和感を持った。だが、それほど悪気はないのだろうと思うことにし、私は彼と結婚してしまった。

本格的に関係が悪くなったのは妊娠後だ。「オレには(妊娠させた)覚えがない」の言葉を皮切りに、彼の心ない言動はエスカレートしていった。流産の危険があった私が買い物頼むと、「妊娠を言い訳に、買い物をさぼるつもりか」。「妊娠は病気ではない」が彼の口癖で、家事ができなかったり遊びに行くのを断ったりすれば、「妊娠と言えば何でも許されると思うな」と吐き捨てる。けれど、その後で必ず優しく謝られたり「愛している」と言われる。単純な私は「根は優しい人なのだから、父親になれば変わるはず」と根拠のない期待にすがりついた。

出産後、私は仕事を辞めた。彼の収入だけでは暮らせなかったが、貯金を崩しても子どもは母親が育てた方がいいと彼は言い、私にはそれが、彼が子どもを大事に思う証に思えて本当に嬉しかった。けれど貯金が底を尽いても、「オレは給料を入れてるんだ。足りなければ自分でなんとかしろ。でも子どもを預けるのは許さない」と無理を言う。彼の休日に私が働くことや、郊外に越すことを提案すると、「オレに迷惑をかけるつもりか」と言ったきり口をきかなくなった。とうとう食事の買い物にすら事欠く状態になったが、彼の無視は続いた。窮状を知り母が送金してくれると、初めて彼は満面の笑みを浮かべ、「(両親に)悪いことしたねえ」と猫なで声で言った。とどのつまり、「子どもを預けず金をなんとかしろ」というのは最初から、私の両親に無心しろという意味だったのだ……。

日本から遠く離れたアメリカで一番頼りにしたい夫は、何につけても容赦のないやり方で私を否定し続けた。家に関わる全てが私の責任になり、私が一人で問題を片付けても

「もっと上手くやれたはず」となじる。子どもがナースリーに入り、私は仕事を始めた。保育の時間に合わせた仕事を選べば「つまらない仕事に満足できて羨ましいよ」、やりがいのある仕事に転職すれば「大変な割に給料は安いんだな」。

彼は機嫌の変化が激しく、自分が笑ったのに私が笑わなかったというだけでもあつと言う間に不機嫌になる。私は毎日、薄氷を踏む思いで過ごしていた。物心のつき始めた子どもを利用した嫌がらせも増えていった。別居の直前に口論になり、彼が「おまえたちのためにいろいろしてやったのに」と言った。驚いた私が「何を？」と尋ねると、「子どもとだらしく寝込んでいる時、つけっぱなしの電気を消してやったことがある」と言われ、つくづく愛想が尽きた。情けない思いはもうたくさんだった。

子どもを連れ家を出、片っ端からイエローページを当たり、「子どものことを考えて行動しろ」と言ってくれた弁護士に離婚裁判を依頼した。何の役にも立たないダメ女だと罵りながらも彼はなぜか強く私に執着していたから、裁判は難航を覚悟していた。だが、幸い、離婚はあっけなく成立した。彼は正式に召還された裁判に出廷せず、私の言い分がすべて認められたからだ。

縁あって再婚、新しい家族と幸せに暮らしている今、私はまた元夫に苦しめられている。彼から私の実家に脅迫状が届くようになったのだ。金銭を要求しつつ、警察には連絡するな、おまえの住所を突き止めてやる等とあり、一時はストレスで鬱状態にもなった。それをきっかけにモラハラ被害者同盟のHPを知り、この苦しみを理解してくれる仲間がたくさんいると知った時の嬉しさは忘れられない。

身体的暴力には敏感なアメリカでも、精神的な虐待に耐えている人はまだまだ多いのではないだろうか。モラハラがアメリカ社会にも認知され、自分の苦しみの正体に気付かないまま辛い毎日を過ごす人間が一人でも減ることを心から願っている。
(夏海)

次号は、メキシコでモラ夫と結婚してしまった方の体験談です。

モラハラについて、もっとお詳しくお調べになられたい方、モラハラ同盟サイト管理人@fixさんにお便りを送られたい方は、是非、下記アドレスまで訪問してみてください。
(パピリオン編集部)

モラル・ハラスメント被害者同盟

<http://www.geocities.jp/moraharadoumei/>